

記述	ナガセによる「適示事実」(解釈)	ナガセの主張
大見出し 「東進」はワタミのような職場でした——ある新卒社員が半年で鬱病を発症、退職後1年半で公務員として社会復帰するまで	「東進」とは、原告の登録商標であり、原告が運営する東進ハイスクールや東進衛星予備校全体を表示する著名な商標であるところ、本件見出しは、普通の読者の、普通の読み方によれば、あたかも「東進」すなわち原告が運営する東進ハイスクールや東進衛星予備校全体もしくはその多くがいわゆるブラック企業と称されている「ワタミ」と同じような企業であり、「ワタミ」と同じように残業代を支払わず、社員を低賃金で長時間労働させる違法行為を敢行する企業で、その適否のため新卒社員も半年でうつ病を発症するほどであるとの事実を適示している。	上記適示は、虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるしるし毀損している。東進ハイスクールや東進衛星予備校全体もしくはその多くが上記のような違法行為に及んでいるという事実は存在しない。
本件記述① ※(前文)「代ゼミ」が大リストラ(去年3月末で27校中20校を閉鎖、40歳以上に早期退職募集)に踏み切るなど少子化で苦しい予備校業界。「勝ち組」の東進ハイスクールは、「今でしょ!」の林修先生に代表されるスター講師の授業を全国にデジタル横展開することで躍進した。その授業は、ほぼ全てが人気講師によるDVDやネット配信によるオンデマンド講義で、首都圏の直営校だけでなく、同じ内容が全国に約900あるフランチャイズ校でも提供される。一員、合理的なフェードアウトにも見えるが、その現場は、教育分野の持つ合理的なイメージとは異なり、社員に過酷な労働環境を強いて本来支払うべき残業代を利益に換える「ブラック企業」が支えている面もある。「まるでユースで聞く居酒屋チェーン店(※ワタミのこと)の様な職場だった」——新卒で、ある東進衛星予備校に入社後、連日深夜に及ぶサービス残業でカウンセラーも自傷、給料が前職20万円未満という環境で、半年で鬱病と診断され退職を余儀なくされた元社員が、自身の体験を振り返り、病に至る経緯とその対処法を語った。	本件記述①は、普通の読者の普通の読み方によれば、あたかも原告が運営する東進ハイスクールや東進衛星予備校全体もしくはその多くがいわゆるブラック企業と称されている「ワタミ」と同じような企業であり、「ワタミ」と同じように残業代を支払わず、社員を低賃金で長時間労働させる違法行為を敢行する企業で、その適否のため新卒社員も半年でうつ病を発症するほどであるとの事実を適示している。	しかし、上記事実は虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるしるし毀損している。東進ハイスクールや東進衛星予備校全体もしくはその多くが上記のような違法行為に及んでいるという事実は、存在しない。  本件記述①には、東進ハイスクールの直営校やフランチャイズ校の「現場」は「ブラック企業」が支えている面もあるなどと記載され、細部だけを取り出せば、理屈のうえでは、上記違法行為が東進ハイスクールや東進衛星予備校のごく一部に過ぎないかのような読み方があると主張できるところに細工に過ぎない。  しかし、本件見出しは、上記のとおり、「東進」はワタミのような職場でした。——ある新卒社員が半年で鬱病を発症、退職後1年半で公務員として社会復帰するまでというものであり、本件見出しと本件記述①を合わせて読めば、上記細工にもかかわらず、本件記述①が、上記違法行為が東進ハイスクールや東進衛星予備校を含む「東進」全体もしくはその多くの現状を指すものであるとの印象を与えるものであることは、明らかである。  上記適示事実も虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるしるし毀損している。
◇教えるというより、教材 & 自習プールの権利を提供  私が大学院を卒業後、関西にある東進衛星予備校の一つに新卒で正社員として入社したのは、2011年の春でした。もともとモノを教えることが好きで、学生時代に教育産業に興味を持ったこともあり、この業界を目指した。別の予備校に受定されたが、そこは勤務地が名古屋で引越が必要だったこと、そして、東進衛星予備校は当時から著しく業績を伸ばしていた企業グループだったことから、この会社を選択しました。  同期は私を含め、覚えている範囲で8人。うち6人が女性でした。私は希望通り教育部門に配属されました。他にエステ部門、生花を扱うフラワー部門などがあり、社員数は全て合わせて100人ほど。教育部門には塾・予備校が全部で12~13校あったと思います。  そのうち、高校生を対象とした10校ほどを、東進グループにフランチャイズ加盟して「東進衛星予備校」の看板を掲げ、運営していました。 東進は、直営校が首都圏にある「東進ハイスクール」、それ以外の地域では「東進衛星予備校」となりますが、提供するサービスの内容に大きな違いはありません。  ※(挿入文)「情熱大陸」では、林修先生が東進で生徒を前にして生授業をする様子が紹介されていたが、あれは全国で月に数回だけの特別生授業で、例として、1日1人1人1コマの東進の授業は、生徒がいない状態で方向けに講義を行い、その動画コンテンツが、衛星・直営問わず、自習プールの各生徒に提供される形式をとる。  東進の校舎には、講師は1人もいません。社員が教育に直接関わる業務は、各生徒の勉強の進捗管理などを行い、サポートすることくらいです。各自に勉強の内容を教えるわけではないため、このやり方だと、落ちこぼれを引き上げることが難しいのが実情です。「元から勉強する人物になら、さらに成績アップにつながる類いの勉強法」と思っています。  人数的に、1人1人に時間を割く余裕はありません。生徒数は時期によってまちまちですが、受験直前になると1校につき最低でも40人前後になります。学費は生徒1人あたりで大体年30万から40万円ほどになり、受講する教科の数で増減します。通常のカリキュラムに加え、夏期冬期の特別講習を受けるとさらに16万円ほどかかるなど、時期によって売り上げも左右されることとなります。  勉強を教えるというよりも、「教材や自習プールを利用できる権利を提供している」というイメージが、正しいと思います。	本件記述②は、東進ハイスクールや東進衛星予備校は、落ちこぼれを引き上げることが難しいのが実情で、もともと勉強する人物をさらに成績アップにつなげる程度のことでは勉強を教えるのではなく、たんに教材や自習プールの権利を提供している。にすぎず、生徒に対する指導など行われていないかのような事実を適示している。	上記適示事実も虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるしるし毀損している。  東進ハイスクールや東進衛星予備校では、生徒各自の現状や希望に合わせ、いかなる講義をいかなる順序で受講するのが効果的かを判断し指導するとともに、生徒各自の進度にあわせて進学の相談に応じ、また、校舎ごとにイベントを企画し進捗させている。  東進の各校舎では、落ちこぼれのような生徒を出さないために日々努力が注がれ、受講や模擬試験に積極的に参加するように呼びかけ、実際多くの生徒が「東進」の校舎で落ちこぼれなどになることなく、志望校に合格している。上記校舎では、どんな地方でも教育の機会均等の自標のもと多数の講義が様々なサービスとともに提供されているのであり、たんに「教材やプールの権利を提供している」という教育がされているということはない。 本件記述②によって適示された上記事実を、少なくとも、あたかも東進ハイスクールや東進衛星予備校のすべて、もしくは多くに当てはまるとされている点で、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるしるし毀損するものである。
◇離職率は年4割超  入社試験は、エントリーシートでの選考から始まり、出席必須の説明会、筆記、数回の面接を経て、最後に会社の理念に基づいた事業のプレゼンをして、社長の前に行いました。  このプレゼンの評価が非常に高く、社長直々に「原代の採用試験プレゼンの中で最も良い出来だった」と高く評価されました。この件も入社理由の一つになりました。今考えると、褒められて舞い上がってしまったのだとします。  私は内定後にアルバイトとして業務に携わるようになったので、実際には入社前年の冬から仕事を始めていました。この時点での業務は、掃除などの雑用と校舎の開け閉め、入社希望者への営業などです。正社員の先輩が3人いたこともあり、アルバイト時では楽しく過ごしました。  しかし、この先輩方は、私が入社する頃には全員がやめており、後になって、年間の離職率が割を超えている、と聞きました。別の先輩が「一体何人辞めさせる気だ」と憤っていたことを覚えています。	本件記述③は、東進ハイスクールや東進衛星予備校のすべて、もしくはその多くは年間の離職率が4割を超える程度の高率であり、実際、短期間に多くの者が退職しているかのような事実を適示している。	上記適示事実も虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるしるし毀損している。  本件対象者が勤務した会社における勤務状況については、原告が事実を直接体験しているわけではないが、本件記事が、あたかも本件記述③に記載された労働実態が東進ハイスクールや東進衛星予備校のすべて、もしくはその多くに共通するものであるかのごとく示唆して適示している点で虚偽であり、この点でも、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるしるし毀損するものである。  なお、原告自体の2014年入社者の離職率は7.9%にすぎず、本件記事は、この点で「東進」本体の離職率を一顧だにせず(原告に対する事前取材すら行っていない)、原告を一方的に誹謗するものであって、とうてい看過することができない。
◇予備校社員の1日  ※(挿入文)正社員となった時点で、この男性以外の人員は、シフト制のアルバイトが数名だけ。アルバイトは別の校舎での業務も兼任しており、担当する校舎に常勤となった男性にほとんどの仕事が集まる形となった。複数の校舎を管轄するエリアマネージャーと呼ばれる女性が直属の上司となったが、彼女も電車で15分ほど離れた別の校舎に勤務していた。乗員1人になった男性に対して、会社側が人員補充などの手立を講じることもしばらくなかったという。  主要な業務の一つである営業は、まず営業トークの吹き込まれた音源を丸暗記することから始まります。これは会社が独自に作った物で、夏期講習の前など生徒を集めたい時期に配布された。文言こそ変わるものの、内容は概ね学習方法の説明や他校との違い、メリットの紹介などでした。正社員になったの時期は、それをテープ起こして音源にして覚えるなど、まだ余裕がありました。すぐにそれも難しくなりました。		

<p>本件記事④</p>	<p>朝は受け持ち地域にある5校ほどの高校の周辺でチラシ配りです。意図する生徒を目標にしているのですから、午前7時半ごろには現場に到着しているといけません。このチラシを手配する仕事も、自分の仕事でした。会社から送られてくるチラシを折り込む、ファイルにまとめる、時には粗品の消しゴムなどを付ける、といった雑用です。前日までの業務の合間を縫って作業していました。</p> <p>午前9時前にチラシ配りを終えると、昼頃に上司の勤務する校舎に集合してミーティングがありました。昼まではいったん家に帰る事も認められていたが、任んじて下宿が遠方だった事もあり、私は直接出勤していました。ここでは営業一歩のテスト、模試や企画の打ち合わせが主です。また、生徒に配るお菓子や車話帳といった粗品の取り決めなどもありました。</p> <p>ミーティングは数時間続けられますが、途中で閉校時間が近づけばそれぞれ自分の担当校舎に出動していきます。私の校舎では大学受験を控えた現役生が対象で、生徒数は多い時で約50人ほどでした。私の場合、大体午後4時前までは模試や商品を揃えるなどの準備を終わらせなければならなかったため、ミーティングはよく途中で退席しました。退席後のミーティングの内容が通達されることはまれでした。</p> <p>生徒たちが来校したら、その日の主要な業務が始まります。生徒への個別の面談とそのスケジュール調整、個人ごとに通算で予定されている学習計画に遅れがないかのチェック、模試の反省点の相談、自習プールの予約やキャンセルの受付など、主に生徒に対する業務をこなしていきます。</p> <p>これと平行して、先述したチラシセットの作成のほか、バイトのシフト組み、コピー用紙や粗品の買い出し、金銭管理、売り上げ報告書や生徒の親に宛てた手紙の作成などの雑務をこなしていきます。新規の入校希望者が来れば営業として面談を行います。上司が営業する場合もあり、その際の日程調整も自分の仕事でした。仕事は多岐にわたるので一つ滞ると他の作業全てが押すこととなります。チラシの折り込みなどの簡単な仕事ならある程度はアルバイトに負担してもらえましたが、そもそも希望者だけなので結局は雑用も含めたほとんどの仕事を処理していました。</p> <p>閉校時間が来ても生徒が残っていれば扉を閉めるわけにもいかず、午後11時過ぎに閉めていました。そこからさらに遅れた仕事を取り戻すための残業が始まります。規定として認められた就業時間は午後2時から午後10時半までですが、出勤も退勤も時間通りだった事はありません。そもそも、就業規則や雇用契約書といった書類は目の付くことにはなく、何がやるべき業務だったのか、何時から何時まで勤務すべき時間帯だったのか、正確なことは今でもわかりません。昨今、居酒屋チェーン店のブラックな職場が報道されていますが、そんな感じでした。</p>	<p>本件記述④により、東進ハイスクールや東進衛星予備校のすべて、もしくはその多くでは、出勤も時間どおりであったことではなく、就業規則や雇用契約書も従業員には見せず、勤務時間も正確にはわからず、「居酒屋チェーン店」のブラックな職場と同じような違法な労務管理がされているとの事実を示唆し暗示している。</p>	<p>上記暗示事実も虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるし毀損している。</p>
<p>本件記述⑤その1</p>	<p>トラブル対応で午前3時まで</p> <p>仕事が遅れる理由は様々です。もちろん、私のミスもありましたが、対応できないような予想外のトラブルも原因となりました。私の校舎では新しい試みとしてインターネット回線授業の動画を配信する取り組みが行われていました。当時、東進衛星予備校では講師の授業風景を録画したDVDを貸し出し、生徒はこれを自習ブースで見ながら個人ごとの計画に沿った学習を進める仕組みでした。その点、私の校舎の取り組みでは、パソコンさえあれば家に居ながらでも授業が受けられる利点があり、いわば営業のフリになっていました。</p> <p>ところがその動画が校舎内の回線不調や生徒のパソコンの設定が原因で見られなくなる、重くなるなどの事態が起きます。苦情が寄せられますが私の知識では別のブースのパソコンをあてるなどの簡単な対処しか出来ませんでした。マニュアルはありましたが限られたケースの対応しか記載されていません。さらに、他の校舎ではDVD貸し出しが主だったため解決策の共有も行われず、業者を手配するなどの対策もありませんでした。この種のトラブル対応を午前3時まで継続していた覚えもあります。</p>	<p>本件記述⑤によれば、本件対象者が勤務した東進衛星予備校では、ほとんど休日もなく、毎日のように午前2時、3時まで働かされ、タクシー代はおろか残業代も出ない状態であり、しかも手当を含めた月給が額面で20万円を超えることはない低賃金で、このためついに本件対象者は「明らかな鬱病」を発症して休職し、そのさい肝臓の数値も1倍以上になる重病になる有様で、東進ハイスクールや東進衛星予備校のすべて、もしくはその多くが、おおむねこれと同様の状態であるとの事実が示唆され、暗示されている。</p>	<p>上記暗示事実も虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるし毀損している。</p>
<p>本件記述⑤その2</p>	<p>ネットカフェ泊り、月収はずっと20万未満</p> <p>(前略)休みは隔週の土曜、そして毎週日曜が定休でした。しかし、模試があれば日曜の休みは無くなります。さらに春夏冬は生徒の長期休み前の講習、秋は模試が多く予定されていて、その準備に追われるため繁忙期はたびたびやってきます。定休に休めないという状況は想定外ではありましたが、社会とほそいうものだと聞いて聞かせ、14運動の後に半休といった勤務も経験しました。</p> <p>業務の処理に追われて午前2時、3時にやっと校舎を出る、といった状況もほぼ毎日になってきました。終電はありませんからタクシーで帰宅したり、校舎に近い場所にあった知人の家やネットカフェに泊まるなどして数時間仮眠、起きてすぐにチラシ配りなどに出勤という生活でした。</p> <p>もちろん、タクシー代はおろか、残業代も出ません。基本給は約17万円ほどで、鬱病で倒れる直前はタクシー代だけで大変な出費になっていました。手当は、家賃もしくは定期代の補助で、どちらも、全額は出ませんでした。結局、一度も手当を含めた月給が額面で20万円を超えたことはありませんでした。</p>	<p>本件記述⑤によれば、本件対象者が勤務した東進衛星予備校では、ほとんど休日もなく、毎日のように午前2時、3時まで働かされ、タクシー代はおろか残業代も出ない状態であり、しかも手当を含めた月給が額面で20万円を超えることはない低賃金で、このためついに本件対象者は「明らかな鬱病」を発症して休職し、そのさい肝臓の数値も1倍以上になる重病になる有様で、東進ハイスクールや東進衛星予備校のすべて、もしくはその多くが、おおむねこれと同様の状態であるとの事実が示唆され、暗示されている。</p>	<p>上記暗示事実も虚偽であり、本件記事は、通知会社の名誉および信用をいじめるし毀損している。</p>